

地域資源を活用した「ハイビスカス物語」創出プロジェクト 変更認定申請 新旧対照表

新	旧
<p>1 ～ 4 (略)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 (略)</p> <p>5-2 (略)</p> <p>(転用の形態) アサヒビール所有の施設は伊江村へ無償譲渡される。 <u>また伊江村は施設を活用した飲料用アルコール等の商品の製造などを第3セクターへ委託する。</u> また、施設がJAおきなわ所有地に整備されているが、伊江村との間で無償貸借契約を行っている。 <u>バガスボイラーについては、今後の利用計画が無いことや、敷地面積の有効活用の観点から、資産を除却する。</u></p> <p>(略)</p> <p>(利用計画等) 伊江村は第3セクターである株式会社伊江島物産センターへ</p>	<p>1 ～ 4 (略)</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 (略)</p> <p>5-2 (略)</p> <p>(転用の形態) アサヒビール所有の施設は伊江村へ無償譲渡され、伊江村は運営会社へ無償賃貸で使用させる。 また、<u>土地はJAおきなわ伊江支店より運営会社へ無償賃貸をする。</u></p> <p>(略)</p> <p>(利用計画等) 第3セクターである株式会社伊江島物産センターへ<u>指定管理</u></p>

当該施設を活用した商品の開発、製造、マーケティング及びそれらに付随する各種業務の委託業務を締結している。また、当組織は転用後の施設利用を見越して、アルコール醸造技術を持つ職員を既に配置していることや、村内では最大の土産品の販売元であること、更にはインターネットによるショッピングサイト「伊江もの本舗」等の流通網が既に整備されており、施設運営、商品販売についての体制が整っている。

また、見学施設が整備されていることから、観光客の誘客による商品の販売促進や隣接する「農産物加工センター」との連携を引き続き行い、当施設一帯を地域農産物加工施設の集積拠点として位置づける。

(略)

を行い、施設の運営を行う予定である。また、当組織は転用後の施設運営を見越して、アルコール醸造技術を持つ職員を既に配置していることや、村内では最大の土産品の販売元であること、更にはインターネットによるショッピングサイト「伊江もの本舗」等の流通網が既に整備されており、施設運営、商品販売についての体制が整っている。

また、見学施設が整備されていることから、観光客の誘客による商品の販売促進や隣接する「農産物加工センター」との連携を引き続き行い、当施設一帯を地域農産物加工施設の集積拠点として位置づける。

(略)